

JSCA 埼玉だより

No.21

(2020年度記録)

HomePage : www.jsca-saitama.jp

Mail : koho@jsca-saitama.jp

JSCA 埼玉 Facebook ページ: <https://www.facebook.com/JscaSaitama>

1. はじめに(代表あいさつ)



JSCA埼玉代表 矢沢秀周

令和も、早3年の今、2020年の2月頃から続くコロナ禍は未だ続いております。すぐに収まると思ったのに！とか、まあ予想通り長引いているな！とか、皆、様々な感想を持っておられるのではないのでしょうか。ワクチン接種もかなり進んでおります。接種がある程度進んだ高齢者の方々には、ワクチン接種の効果が明確に出ているようです。時間が経つにつれて全国民にワクチン接種が広がれば、いよいよ疫病としてのコロナ禍の終息が見えてきそうです。

コロナ禍の終息は、どのように定義されるのでしょうか？一日の感染者が一定数以下になったとき？ワクチン2回接種が殆どの国民にゆき渡ったとき？緊急事態宣言や蔓延防止法の宣言地域がなくなったとき？政府がいつか発表するであろう終息宣言時？いろいろ終息の「定義」は考えられると思いますが、私たちにとっての終息とは、2019年までの脈々と続いてきた日常、すなわちマスク無し、手洗いうがいもほどほどに、打ち合わせや会議でしょっちゅう出かける、気が向けば仲間と居酒屋で飲みニケーション、時には宴会場で立ち飲みビュッフェスタイルのパーティー。それらが何の疑問もなく普通に行われていた日常が戻ってくることがコロナ禍終息でしょうか？いや、そのような日常はもう戻らない可能性があります。ではニューノーマルとも言われるコロナ禍終息後はどのような時代になるのでしょうか。

デジタル庁も発足し、デジタル化がニューノーマルのキーワードとなりそうです。ビジネスコミュニケーションを例に考えると、身近なところでは、皆様も使われていると思う ZOOM です。打ち合わせや講習会の受講でだんだんと多用するようになってませんか？さらに microsoft の teams も大手企業では標準で、こちらはオンライン会議の機能に加え、ビジネスチャットやビデオ電話の機能も備えております。これらを使用したチームワークが各組織の中では既に日常となり、そのチームワーク手法が、外部とのコミュニケーションに用いられることがニューノーマルとなりそうです。

古くはリアル会議が電話で打ち合わせ、FAXで図面を送ってもらい、宅急便で原図を納品しておりました。近年では、リアル会議、電話およびメールで打ち合わせから納品まで済ませると思います。今後は、リアル会議はなくなり、メールも使用せず、teams のようなツールで、打ち合わせ、連絡、納品、すべて済ませる時代が、もうそこまでやってきているのではないのでしょうか。

コミュニケーションの事だけ書きましたが、設計手法そのものも、特に作図において、BIMがどんどん入ってきそうです。黙って傍観していて良いはずはなく、なんらか皆で情報交換しながら、地域の設計事務所の新しいあり方も模索してゆきたいです。遅ればせながらご報告ですが、代表、3期目を迎える事ができました。皆様のために頑張ります。

JSCA埼玉 代表 矢沢秀周



JSCA 埼玉ホームページ(トップ)

目次

1. はじめに(代表あいさつ)
2. JSCA 埼玉の動向(2020年度)
3. 役員名簿
4. JSCA 埼玉研修旅行記(中止)
5. 賛助会員名簿
6. お知らせ
7. JSCA 建築構造士の雑コラム (投稿者:河合康夫)
編集後記

2. JSCA 埼玉の動向

A 総務委員会

1. 定例役員会の開催(ZOOMによるオンライン開催)
2020年4月18日、5月16日、7月18日、10月8日、10月31日
2021年1月23日、3月20日、計7回
2. 総会・講演会の開催 2019年5月29日 書面総会
総会 出席50名(内委任状49名)
3. JSCA本部・関東甲信越支部との連絡及び協議
4. 建築基準法改正に伴う各行政庁及び指定確認検査機関等との協議
5. 彩の国既存建築物地震対策協議会総会 幹事就任
6. 埼玉県と締結済みの、「民間建築物の耐震化」についての支援及び協力体制の充実
7. 役員慰労会の開催(ZOOMによるオンライン開催) 2020年12月5日 出席12名
8. JSCA 埼玉役員・委員同士の Web 上での意見交換

B 事業委員会

1. 勉強会の開催
各委員会主催の講習会、セミナー等の準備補助

C 広報委員会

1. JSCA 埼玉ホームページの全面リニューアル(SSL化とスマホ閲覧に対応)
2. JSCA 埼玉 Facebook ページでの情報提供と利用者の拡充
3. 会誌「JSCA 埼玉だより」の発行(JSCA 埼玉ホームページよりダウンロード配布)
4. 各委員会との活動協力

D 渉外委員会

1. JSCA埼玉賛助会員年会費の納入案内(請求書郵送)
2. 2020年9月18日 第1回工法・技術製品セミナー開催
・JSCA埼玉賛助会員3社による最新の技術工法の紹介、説明。
場所 ZOOMによるオンライン開催
発表 旭化成建材(株)、伊田テクノス(株)、岡部(株)
発表後、工法・技術製品セミナーアンケート
終了後、オンライン懇親会。
3. 2021年3月25日 第2回工法・技術製品セミナー開催
・JSCA埼玉賛助会員5社による最新の技術工法の紹介、説明。
場所 ZOOMによるオンライン開催
発表 センクシア(株)、アイエスケー(株)、
PR(株)三誠、岡部(株)、(株)構造システム
発表後、工法・技術製品セミナーアンケート
終了後、オンライン懇親会。

E 耐震委員会

1. 2020年度 2021年度 彩の国既存建築物地震対策協議会幹事就任
2. 埼玉県耐震サポーター制度への、会員の活動状況報告

F 木造委員会

1. (一社)中大規模木造プレカット協会へJSCA埼玉として参加
2. 第2回壁ー1グランプリ見学 2021年10月25日

G その他

1. 2020 年 4 月 6 日(月)埼玉県庁 役員(コロナ禍につき代表のみ参加)新年度挨拶
埼玉県都市整備部副部長
埼玉県都市整備部建築安全課、埼玉県都市整備部都市計画課
埼玉県都市整備部住宅課、埼玉県都市整備部営繕課
埼玉県農林部森づくり課
さいたま市役所建築総務課
埼玉県住宅供給公社 事業推進部
2. 2020 年 6 月 5 日(金)JSCA関東甲信越支部総会(ZOOM)へ 1 名出席。
3. 役員による、Structure 誌配布
埼玉県都市整備部、埼玉県建築安全課、埼玉県都市計画課、埼玉県営繕課、
埼玉県森づくり課、上尾市、春日部市、川口市、川越市、越谷市、さいたま市(3課)、
狭山市、草加市、所沢市、新座市、久喜市、熊谷市、川越建築安全センター、
熊谷建築安全センター、熊谷建築安全センター秩父駐在、越谷建築安全センター、
埼玉県住宅供給公社
4. 本部活動への参画
編集委員会 矢沢、金田(本部賀詞交歓会撮影、本部総会撮影)
地球環境問題委員会 矢沢
5. その他の活動への参画
JDR(国際緊急援助隊)構造評価専門員 石川、矢沢

3. 役員名簿

代 表	矢沢 秀周
副代表	吉田 孝 酒井 裕祐 小橋 良治
特別幹事	中尾 雅躬（東京電機大学名誉教授）
幹 事	尾田 文雄 淵岡 隆 高橋 達夫 杉山 安男 竹ノ谷 敦夫 小宮 英彦 押川 直治 小川 雅 松本 喜博 沼田 岳彦 上河内 宏文 河合 康夫 高瀬 一雄 岸本 進史 宮下 直子
会 計	小橋 良治(副代表兼務) 押川 直治(幹事兼務)
会計監査	石川 英世 土屋 明

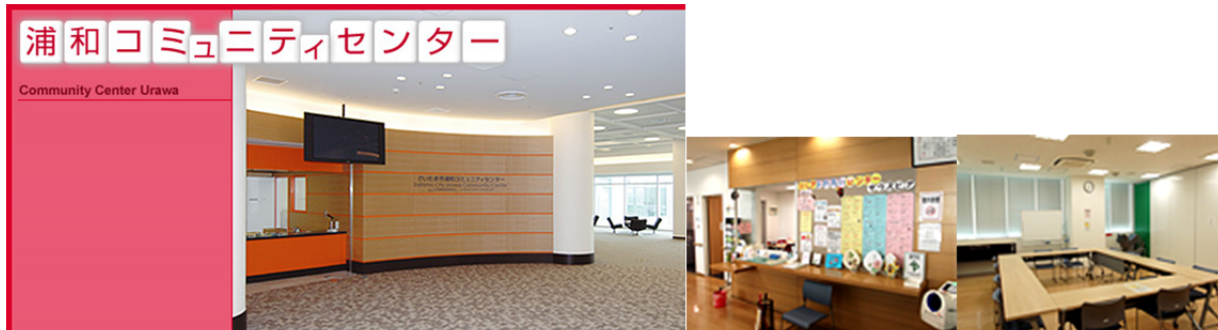
※ 令和 3 年 6 月 4 日 現在

JSCA埼玉役員は現在上記の方々に構成されています。県内の構造設計事務所で業務を行っている方が主なメンバーです。なお、役員会は浦和駅及び武蔵浦和周辺の施設（公共施設）を毎月借りて「役員会」と「勉強会」を交互に行っています。第3土曜日のPM6:00～から毎月活動していますがコロナ禍の為、Zoomによる活動となっています。

また、役員は県庁をはじめ県内の特定行政庁へ定期的な訪問を行い会誌「STRUCTURE」及び講習会開催の案内等行っています。

JSCA埼玉ではドメインjsca-saitama.jpを取得している為、役員同士の定期的な連絡などはメーリングリストで行っています。

役員会開催施設（浦和コミュニティセンター及び武蔵浦和コミュニティセンター）



各委員会委員長

総務委員会: 吉田 孝
事業委員会: 小川 雅
広報委員会: 高橋 達夫
渉外委員会: 押川 直治
耐震委員会: 尾田 文雄
木造委員会: 酒井 裕祐

上記の委員長を中心にJSCA埼玉では各委員会が活動を行っています。

委員会はJSCA埼玉会員であれば参加できますので委員会に参加希望の方は各委員長にご連絡ください。

4. JSCA 埼玉研修旅行記

コロナ禍の為、毎年行われている研修旅行は中止となりました。

5. 賛助会員名簿

令和3年6月末 現在、会の活動主旨に賛同して頂いております法人の皆様は、下表の41社です。

法人名	担当者名	TEL
		FAX
岡部(株) ベースパック事業部 東部営業第二 営業課	牧野 順哉	03-3624-5336
		03-3624-5237
(株)三誠 北関東営業所	錦織 学	048-813-6612
		048-813-6615
(株)テクノックス 建築営業部 建築第二グループ	相羽 隆太	03-3455-7790
		03-3455-7683
千代田工営(株) 技術営業部	渡部 豊士	048-642-4191
		048-648-0899
(株)北雄産業 東京営業所 技術営業部	鈴木 大二郎	03-6666-9421
		03-6666-9431
ユニオンシステム(株)	田之上 康彦	03-3352-6121
		03-3352-6310
(株)アーバンソイルリサーチ	菅原 武彦	048-810-1151
		048-810-1152
(株)角籐 さいたま営業所	酒井 寿郎	048-642-6808
		048-642-6807
三谷セキサン(株) 埼玉営業所	都野 龍一	048-866-7300
		048-866-1706
ジャパンパイル(株) 北関東支店	並田 泰典	048-796-7770
		048-710-6255
アウェイ建築評価ネット(株) 構造適判部	藤本 奈月	03-6672-6136
		03-6683-2250
(株)アイ・イー・エル 埼玉営業所	東山 直樹	048-994-2755
		048-994-2766
(株)鹿島技研	原中 朋幸	0475-80-8221
		0475-80-8222
サイシン基業(株)	傳田 卓生	048-688-9660
		048-688-9670
前田商事(有)	前田 涼	042-352-8228
		042-352-8229
日鉄建材(株) 建築技術部	中野 英行	03-6625-6150
		03-6625-6151
センクシア(株) 建材カンパニー基礎本部国内営業部	杉木 真一	03-4214-1932
		03-3438-1061
生和テクノス(株)	向原 誠一	048-864-1731
		048-864-2365
(株)建築構造センター	池ヶ谷 卓宏	048-799-3016
		048-799-3017
ムツミ産業(株)	西田 正美	048-831-3032
		048-824-1775
アースプラン(株)	菅原 敏康	048-767-1555
		048-767-1557

法人名	担当者名	TEL
		FAX
I Sエンジニアリング(株)	上石 雅樹	03-5614-5883
		03-5614-5886
伊田テクノス(株)	及川 直哉	048-720-4888
		048-720-4880
旭化成建材(株) 住建事業部東京構造資材営業部	荻原 隆司	03-3296-3515
		03-3296-3518
(株) リアス	木村 匡秀	03-5959-0102
		03-5959-0103
アイエスケー(株) 東京支店	立原 知幸	03-5251-5545
		03-5251-5226
(株)サムシング 埼玉支店	斉藤 孝文	048-729-4510
		048-652-6511
ブリヂストン化工品ジャパン(株) 免震首都圏営業部 営業1課	上西 康之	03-4590-7001
		03-4590-7021
矢作建設工業(株)	堀川 牧夫	03-3555-3613
		03-3555-3610
(株)ロプテックスファスニングシステム	藤永 政司	03-5847-4100
		03-5847-4101
(株)構造システム	小林 文悟	03-6821-1311
		03-5978-6215
(株)アルク	宗元 功太	029-246-9511
		029-246-9512
(株)マイダスアイティジャパン	金 賢珉	03-5817-0789
		03-5817-0780
(株)構造ソフト	大久保 智子	03-5249-2151
		03-5249-2160
日本高圧コンクリート(株) 東京支社埼玉営業所	片山 淳	048-662-9045
		048-662-9046
新栄重機建設工業(株)	今 智史	048-711-7433
		048-711-7430
エイチ・ジー・サービス(株)	沼尻 英行	043-290-0112
		043-290-0113
(株)向山工場	小谷野 浩	03-6212-8903
		03-6212-8905
(株)トーテック 東京営業所	小柳 誠	03-5604-5806
		03-5604-5816
(株)総合資格 越谷支店	岩崎 雄樹	048-990-6971
		048-990-6981
三興商事株式会社	岩瀬 雄一郎	048-669-1181
		048-669-1182

(順不同にて敬称は略させていただきました)

6. お知らせ

★ ホームページについて

ホームページはたくさんの方々がアクセスして頂けるよう、内容の更新を考えていますのでご要望などありましたら遠慮なくお知らせください。連絡先はホームページ担当の広報委員会メールアドレス koho@jsca-saitama.jp まで、よろしくお願い致します。

★ JSCA 埼玉 facebook ページについて

JSCA埼玉では facebook ページを公開しています。アドレスは <https://www.facebook.com/JscaSaitama> となっています。JSCA埼玉ホームページ右下にリンクが貼ってありますのでそこからページにアクセスできます。できるだけたくさんの情報をリアルタイムで発信したいと考えていますので是非「いいね！」をお願いいたします。

★ 賛助会員の皆様へお願い

JSCA埼玉のホームページに賛助会員のみなさんの名簿が掲載されています。貴社のHPへリンクを貼ることができますので希望する賛助会員の方々はメールにてご連絡ください。
連絡先メールアドレスは koho@jsca-saitama.jp となります。

★ 広報委員の募集

JSCA埼玉広報委員会では委員を募集しています。JSCA埼玉会員で広報委員会の活動を希望される方は広報委員会宛てにメール連絡 koho@jsca-saitama.jp をお願いします。(担当:高橋)

★ お問い合わせフォームの利用

JSCA埼玉ではホームページ上でお問い合わせフォームが利用できます。会員の皆様をはじめ一般の方よりの問い合わせ等で利用できるようになっています。お気軽にご利用いただければ幸いです。
ホームページアドレスは www.jsca-saitama.jp です。

★ 過去のJSCA埼玉だより

過去のJSCA埼玉だよりはJSCA埼玉ホームページ(お知らせ)よりダウンロードできます。

★ JSCA 埼玉 LINE 公式アカウント

JSCA 埼玉では LINE 公式アカウントを取得しています。会員の皆様においてはぜひともご登録をお願いいたします。下記の QR コードを LINE アプリにて読み込んでください。



7. JSCA 建築構造士の雑コラム

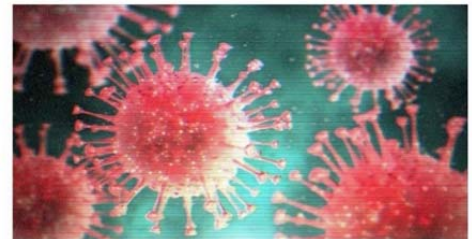
今回の投稿者は JSCA 埼玉幹事の河合康夫氏です。「新型コロナウイルスに想う」と題して投稿して頂きました。

////////////////////////////////////

新型コロナウイルスに起因するパンデミックが地球規模で発生し、人類が直面する 100 年に一度の危機と言われています。人類の祖先(猿人)は、今から約 700 万年前にアフリカで誕生し、300 万年前には、現生人類が保持する諸機能の初期の状況に至ったと言われています。その後、天地異変・気候変動人口増加に伴う食糧不足等に伴い、180 万年前、最初の出アフリカを成し遂げ、世界各地へ拡散したようです。その形跡は、食料となる野生動物の移動とほぼ一致していますが、今日まで生き残ったのは、6万年前出アフリカを行った現生人類(ホモ・サピエンス)のみで、他の全ての出アフリカ人類は、「絶滅」という結果になったようです。



VS



野生動物を追い、捉えて食料とすることは、野生動物との接触を意味し、動物の体内で共存する各種のウィルスが人類に感染し、ある時はウィルスに打ち克ち免疫力を獲得するも、抵抗できず絶滅していった人類の祖先も存在したことが想像されます。

人類の生存は、150 年前の江戸時代末期～明治初期においてさえ、その現実は厳しいものだったことが推測されます(NHK大河ドラマ:「青天を衝け」においてもその現状が描写されていました)。

しかし、今日ではワクチンの開発・接種という、医学分野での人類の英知を結集した成果の基、そのリスクは大幅に改善されています。

今日、社会基盤整備については、ウィルス感染に強い社会構造への転換が求められています。工学、特に建築分野においては抗菌住宅・事務所等に多くの提案が行われ、一部は実現しています。ウィルスを住宅内に進入させないプランニング計画、殺菌効果のある照明器具・空気清浄器の開発、抗菌作用が持続する仕上げ材・器具の開発、さらには勤務形態の激変に起因する在宅ワーク対応型住宅の開発、コンクリートへの抗菌混和剤の添加、木材への抗菌剤圧入による抗菌作用の強度化等。また 流通・販売分野における ロボット化(無人化)の急速な普及等。AI と一体となった10年先の様相は描くことさえ困難な状況です。

現在、建築確認検査業務の一環として

- ①建築構造計算適合性判定
 - ②省エネルギー適合性判定
- そして「住宅評価」があります。

.....
ウィルス適合性判定通知書
.....

今後も新型コロナウイルスの出現は続くというのが、多くの専門家の予想です。地球規模での森林乱開発と地球温暖化等、悪条件はそろい過ぎている感があります。察するに、10年後の建築界では、①構造適判、②省エネ適判、③ウィルス適判、この3つの適判済証の取得が建築確認検査受付の条件となる可能性も皆無では無いと思われます。構造分野への波及も避けられないと思われます。使用構造材料の認定条件等の高度化・必須化等。建築構造技術者も注力する必要があると考えます。

雑コラムで使用させていただいた資料等は、インターネット環境から入手し、日頃 個人として考えていた事柄を述べさせていただきました。意見の異なる会員の方々も多数おられると存知ます。新型コロナウイルスを克服し、以前の日常に戻りましたら、懇親会等におきまして 建築、特に構造設計の今後について語り合える日々が早く到来することを楽しみにしています。

JSCA 建築構造士 河合康夫

8. 編集後記

JSCA埼玉だよりも今回で21回目の発行となります。これからも会員の皆様にとって役立つ情報を発信していきますのでよろしくお願いいたします。

(広報委員長/高橋達夫)

広報委員会メンバー

委員長 高橋 達夫

委員 吉田 孝

委員 高瀬 一雄

協力 JSCA埼玉幹事

発行:JSCA埼玉広報委員会
